

早掛平地区で自主防災訓練が開催されました！

5月28日、早掛平地区において、早掛平自主防災訓練が開催されました。

この取り組みは早掛平自主防災会（中野義信会長）と早掛平成年会（上路直人会長）の主催によるもので、6年ぶりの開催となります。

当日は放送にあわせ早掛平集落の約50名が早掛平集会施設「白桜の郷」に参集し、初期消火訓練や発電機・投光器の動作確認を行いました。

また、青森県防災士会むつ支部により、段ボールベッドや間仕切りの組み立ての実演が行われ、参加者は真剣な表情で訓練を行っていました。

訓練終了後は早掛平成年会による炊き出しが振る舞われ、参加者は舌鼓を打っていました。

災害時には、自らの身を守り、お互いに助けあう「自助」・「共助」が非常に重要になります。

災害に備え、ひとりひとりが日頃からの準備をしっかりと行いましょう。



参加者による初期消火訓練の様子



段ボールベッドの組み立て



炊き出し訓練の様子

昔ながらの「田植え体験学習」東通小5年生大奮闘！

5月30日、東通小学校5年生が東通科の一環として、目名地区の水田において、昔ながらの田植えに挑戦しました。

地域の自然や文化や人間などのテーマを決めて、課題意識を持って取り組む「東通科」のカリキュラムの一環で、5年生は地域の産業について学んでいます。

当日は天候にも恵まれ、子供たちは泥に足を取られながらも、一本一本ていねいに、苗を植えました。今年植えたのは「ほっかりん」の苗で、給食にも使われているお馴染みのお米です。

無事田植えを終えた子供たちからは「はじめての田植えだったけど、上手にできたと思う」「田んぼの中で歩くのが難しかった」「早く食べたいです」など楽しい感想が飛び交いました。

講師の山崎孝悦さんからは「ここ数年で最高の出来かと思えます！99.6点！」と大変素晴らしい採点をいただき、秋の稲刈りまで、このまま生育を見守ってくださるそうです。



山崎さんの教えを一生懸命実行していました！



最後はみんなで“はい！チーズ！”